

平成 29 年 5 月 20 日（土）
19 時 00 分～20 時 20 分
立川市 上砂会館 第一集会室

「立川市新清掃工場整備基本計画」住民説明会 議事概要

参加者

【市 側】副市長、ごみ減量化担当部長、新清掃工場準備室長
清掃事務所長、ごみ対策課長、新清掃工場準備室庶務係長
新清掃工場準備室職員 2 名、清掃事務所職員 3 名、ごみ対策課職員 3 名
合計 14 名

【住民側】61 名 計 61 名
【その他】立川市議会議員 4 名 計 4 名
合計 65 名

開 会

司会より開会

始めに本日の説明会におきましては、説明会の様子を記録するために職員が皆様のお顔が写らない形で後方から写真撮影をさせていただきます。また、議事録の作成のため録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。

改めまして皆様、こんばんは。本日は、土曜のお忙しい時間、また、暑い中をご参加いただきまして、ありがとうございます。只今より、立川市民を対象とした「立川市新清掃工場整備基本計画」の住民説明会を開催させていただきます。

初めに田中副市長より挨拶をさせていただきます。

副市長挨拶

皆様こんばんは。副市長の田中でございます。

今日は、司会からお話がありましたけれども、昼間は非常に暑い日でございます。

また、今日は大変お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。皆様におかれましては、日頃より立川市政にご理解とご協力を賜りまして厚くご礼申し上げます。

特に、これまで新清掃工場設置予定地周辺の皆様におかれましては、積極的な取り組みを行っていただきました。重ねてお礼申し上げます。

さて、清掃工場の移転問題につきましては、これまでの間、設置予定地周辺住民の皆様には説明会や周辺自治会等 7 団体で構成いたします「立川基地跡地利用施設検討委員会」の皆様との話し合いの中で様々な議論を重ねていただいていたところでございます。

こうした中で、議会でのご意見もいただきながら、平成 27 年の 12 月に「新清掃工場（仮称）の基本的な考え方」についてお示しさせていただき、本年 3 月には「立川市新清掃工場整備基本計画」を策定

することが出来たわけでございます。

この整備基本計画の策定にあたりましては、学識経験者、専門家の皆様、関係団体、それから公募市民等で構成いたします「新清掃工場整備基本計画検討委員会」を設立しまして約 10 か月、計 8 回にわたりまして様々なご議論をいただきました。

本日は、この整備基本計画についてご説明させていただくわけでございますけれども、清掃工場は市民生活に不可欠なものでございます。こうしたことから皆様のご理解とご協力をお願い申し上げまして、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

出席者紹介

司会より、副市長、ごみ減量化担当部長、新清掃工場準備室長、清掃事務所長、ごみ対策課長の紹介及び自己紹介並びに説明会の職員対応体制について説明。

立川基地跡地利用施設検討委員会 会長挨拶

本日は、立川市新清掃工場整備基本計画住民説明会を開催していただき、誠にありがとうございます。

立川基地跡地利用検討委員会は平成25年4月以降、これまで25回の話し合いを行ってきました。これらの内容を、その都度「施設検討委員会ニュース」として地域の皆様に周知してきたところです。

また、先ほど副市長さんが言われたように新清掃工場整備基本計画検討委員会に、会長の私と副会長が関係団体の代表として参加させていただいております。

また、1年にわたり計8回の委員会が開催され、専門家や我々地域住民などの様々な立場から意見交換がなされ、充実した委員会でありました。こうした中で、本日の説明会があり、「立川市新清掃工場整備基本計画」について、私達住民が話し合ってきたことを反映していただいたと思っております。

本日は説明をご理解いただき、しっかりと皆様に周知、そしてお聞きいただければ幸いです。

今後とも市との話し合いを進めてまいりますのでご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございます。

司会より説明会の趣旨等について説明

本日の説明会につきましては、広報などでもお知らせしておりますけれども、今年の3月に立川市が取りまとめました「立川市新清掃工場整備基本計画」について、立川市民の皆様にご説明することを目的としております。説明の後には、質疑応答の時間を設けてございますのでご質問、ご意見等は、その時にお願ひしたいと思っております。

新清掃工場準備室長 パワーポイント説明

「立川市新清掃工場整備基本計画」の内容について説明

第1章 新清掃工場の基本的な考え

第2章 設置予定地に係る基本条件

第3章 施設規模の設定

第4章 計画ごみ質の設定

- 第5章 環境保全対策
- 第6章 ごみ処理方式
- 第7章 プラント設備計画
- 第8章 余熱利用計画
- 第9章 環境学習機能
- 第10章 防災計画
- 第11章 建築計画
- 第12章 事業方式及び財政計画
- 第13章 事業スケジュール

以上の整備計画を構成する13の章について、パワーポイント及び配布資料を基に新清掃工場準備室長より約40分の説明。

質疑応答

司 会：引き続き質疑応答に進めさせていただきます。ご質問等ある方は挙手をさせていただき、私の方でご案内をさせていただきます。職員がマイクをお持ちいたしますので、質問内容が他の方にも分かるように、マイクを通じてお話をさせていただきようお願いいたします。それでは、質問のある方、挙手の方をお願いします。

住 民：ごみを運び込む自動車が通ると思われる道路を使ってスーパーとかに買い物に行っております。立川市の全体のごみ処理の車が入るとなると、だいぶ多数の車が通ると思うのですが、その排気ガスにつままして配慮した自動車を使ってごみを持ち込んでいただけるのかどうか、今のような自動車でごみを運び込むのか、そこをお聞きしたいと思います。

室 長：収集車の動線をお見せしたいと思います。ごみの収集車の搬入予定経路です。あと、1日の台数がどんな感じなのかをお伝えします。

スクリーンの方をご覧ください。こちらの動線については、西立川駅周辺。あと、東中神駅がありますが、この都市計画道路3・2・3号線という通りが来ていますので、そこから4月10日に開通しました3・2・11号線、こういった所の動線が考えられます。それと上の通りが、今、用地買収を進められています3・2・38号線が動線になります。そして、1日当たり、平成28年度速報値ですけれども大体120台です。時間当たりになると20台もありません。そして、現清掃工場の収集に関しても、実際に低公害車を導入してまして、天然ガス等を利用した車も導入してございます。心配な点については、影響ないようにしたいと思っていますので、今後も低公害車の導入も含めて進めていきたいと思っています。

住 民：周辺の公園の工事をするのに、かなり振動が大きかったです。事業スケジュールで示されていますが、例えば5番の設計・工事・試運転とかの記述について、具体的に振動が加わるような時期というのは、どれぐらいになるのでしょうか。

室 長：新清掃工場の工事に関してですが、すぐには工事が着手はしません。まずは設計をしますの
で、実際のところは平成32年ぐらいのスタートだと思えます。

工事中の騒音のことについては、当然そういったことがないようにということで話し合いを
持ちたいと思っています。近隣の方にご迷惑を掛けないような工事が前提でございますので、
そういった配慮をしていくことで進めていきたいと考えております。

住 民：立川基地跡地全体で、いろんなことが始まっていると思えます。公園とかも含めてですね。
これに、今回の新清掃工場の方がどれくらい関わられるか分からないですが、道路などが整備さ
れた影響で上砂町周辺の交通量がかなり増えていて、あればいいのと思う場所に信号などが
なくて、子供が小さいこともあるのでかなり危険な目にあっているんですけども、その辺のト
ータルで考えることは可能なんでしょうか。

住 民（施設検討委員会会長）

：道路の要望とか信号機の要望とかありましたが、公園から新しい道路が出来て、突き当りに、
危険性があるということで大山自治会と安協さんとで要望を出しております。あそこは立川市
以外の昭島エリアの道路なので、昭島警察と昭島市の方に要望出しております。それで、何と
か解決していただけるように安全面と、警察でも調査をして何らかの形で事故がないような配
慮をしたいということです。まだ結果は出ていませんけれど、そのような要望は地域として出
しております。

むさしの自治会と周辺の自治会に対しては交通量も多いということで、地域として自治会が
交通安全協会に対して手を打ったところです。

司 会：会長の方からご報告いただいて、住民の皆様の活動をお伝えしたところだと思えますが、行
政側からの回答はどういたしましょう。

部 長：土地区画整理事業に伴って周辺の道路整備なども行っておりますので、地元からそういった
ご要望が市の別の部署に来ております。また、警察の方にもそういったお話が届いているよう
です。現場の方で、何らかの対応は、当然、出来る所、出来ない所、あるかと思えますけれど
も、今、要望いただいて検討しているというところでご理解いただければと思えます。

住 民：説明会の前段で立川基地跡地利用施設検討委員会の会長からいろいろ説明がありました。今
まで平成25年から25回も回数を重ねているということですね。かなり丁寧な検討をされている
と思えます。それで、清掃工場っていうのは公共性のあるもので、地域生活というもの、そし
て、そこに住民参加型でやっていくっていうのが一番理想だと思えます。

そうしますと、今日、説明会に来ている方は何名くらいになってますでしょうか。これは、
立川人口17万としまして、その何%なのか、そういうことを考えますと、パブリックコメント
制度ですか、こういうものからみまますと、やや物足りないのを感じるわけです。

ここに集まる方は、相当な地域愛があると思えます。その反面、地域愛が出すぎますと地域
エゴになる可能性がありますから、そういったところの行政のコントロール、それも十分お考
えになって進めていかれたら良いのではないかと思います。

司 会：ご来場の方の人数ですが、約60名程度の方がいらっしゃるということです。

室 長：良いご意見いただきました。先ほど、地域の方々の話し合いということをご報告させていただきました。最初のころは大変な思いをしたこともございます。

ただ、一緒にいろいろ考えていくと知恵が出てくるというところがございました。そういった中で作り上げていくものだと思っています。こういう機会がよい契機になって、もっと多くの方に来てもらう状況を作れば良かったのかもしれませんが、是非今後も、皆様と一緒にいい清掃工場を作っていけるように進めさせていただけたらと思っています。

住 民：予定地に猛禽類が毎年営巣しているはずですよね。この猛禽類について影響はないのかどうかお聞きしたいと思います。

室 長：猛禽類の話でございますけれども、環境委保全地域がございまして、猛禽類ということで土地区画整理事業の中で対応をしています。これは、財務省の方でやっています、今現在、その猛禽類についての委員会を開催している状況で、そこを注視しながら対応していきたいと思えます。

また、新清掃工場の設置予定地については、東京都の指導もございます。そういったことにも対応しながら取り組んでいきたいと考えております。以上でございます。

住 民：煙突ですけども、周りとの調和を図るって書いてあるのですが、どんな感じの調和ですか。周りに公園とか、すごい緑がきれいな感じなのにぽんと煙突があるのって、どんな感じで調和を図るのでしょうか。

室 長：調和について、他団体の事例等の中では、煙突を細く見せるような形状をすとか、あとは緑にして周辺との調和を図ったり、あとは茶色にして景観と同化するような形をしたりとか、いろんな工夫はされている所がございます。今度の新清掃工場に関しても、そういったことを意識しながら、どういう形で出来るかどうかというのはあります。

具体的な計画は今のところ、持ち合わせてございませんけど、他団体の事例などを踏まえながら、今後、景観に配慮した形の煙突というのは整備していきたいと思っています。

やはり59mとしても高い煙突でございますので、その中で圧迫感がないとか、うわってという思いが、気持ちにならないような形というのは、配慮したいと思っております。

住 民：スライドにあります（ごみ収集車交通量）1日当たり約120台とあるんですが、自分にも小さい子供がいるので気になるのですが、トラックの稼働している時間帯と、ごみの回収をする日に例えば燃やせるごみの日に収集していただいた後、燃やせるごみの日は、ごみ落ちていたりすることがあって、何か、そういった対策みたいなものっていうのはあるのかうかがいたいです。

課長：収集車の時間帯ですが、ごみに関しては、朝の8時までに出していただくことを決めさせていただいています。従いまして8時前から収集車は動かないという形でやっております。大体、収集を8時に始めますので、1台目が入ってくるのが9時台からになるかと思います。収集は大体、夕方3時か、遅くても4時ぐらいには終わりますので、収集車が出入りするのは4時台が最終になるかと思います。

それと、集めた後に、ごみが落ちているというお話ですが、確かにカラスがついばんだりとか、ごみの口が完全に閉まっていない状態であると、こぼれてしまうということが確かにございます。現場の収集員に対しては、こぼれたごみもきちっと集めて丁寧に持っていきようというように、毎月、班長会議でも言っておりますので、それを重ねて指導していきたいというように思いますし、散らかっているというようなことがございましたら、電話いただければ収集車にも現場にも、その声を伝えるようにいたします。

住民：完成が平成34年度と言われましたけど、5年間かかるわけですよね、私は85歳です。果たして、この完成を見られるかどうか、心配になったんです。もう少し早く出来ませんか。

もう1つは、ごみ収集車が何千台ここに集まるのか、今から夏に入りますとハエが発生したり、いろんな匂いが出たりするわけです。どうしても、やっぱり汚れや匂いが付着しているわけです。そういうので、工場は近代化していますが、車の方も、車の内部で加工して少しでも匂いを消すとか、そういうことも考えていいんじゃないかと思うのですが、このへんはどうですか。お願いします。働いているおじさん達を大変に思うさまには頭が下がります。何も言えないですけども、どうしても夏時分になると南風が吹いてくるでしょう。そうすると、どうしても大山団地に全面的に匂いがくるわけです。この匂いと煙、煙は59mだから高いんだから… 煙はいいけど、匂い、振動、ほこりだとか、そういうものをきちんとしていただきたいと思えますね。

もう1つは、ごみ処理工場のエネルギーのことをおっしゃっていました。その熱を利用して、もう少し何かに利用できないかと、例えば観光地として。昭和記念公園もありますし人が集まる所ですし、環境も整備されていますから、今後大変きれいになっていますね。公園も出ています。素晴らしいです。ですから、何か利用して皆さん集まった所へ、温泉まで行かないかもしれないけど、ひと風呂浴びて帰れるよってというような感じのしゃれたレクリエーション、そういったものを考えられませんか。

室長：まず前倒しの件でございますが、やはり1日も早く前倒しをしたいです。ただ、国からの用地取得や工事の期間でございますけども、オリンピックとか災害の復旧活動等に携わる業者さんの方が、手一杯で人手が不足しているといった制約があります。ただ思いとしては、1日も早く移転できるように、作れるように努力したいと考えております。

あと、熱利用でございますが、先ほどご説明いたしました第8章の余熱利用計画の中でもございますように、発電ですとか防災拠点の場外余熱利用の計画も示させていただいています。そういった中で考えていくことは重要と思っておりますが、ただ、あそこは1.3ヘクタールの土地で、温浴施設、スーパー銭湯のようなものとか、そういったものを作るスペースというのは、なかなか見い出せないというのが正直なところです。

課長：ごみ収集車の匂い対策についてご質問いただきましたので、お答えいたします。だんだん暑くなってきましたので、燃やせるごみ、特に生ごみが匂いを発するという事は承知しております。それで、収集車の方には、1日の収集が終わりましたら、帰った上で洗浄とかよくして、特に収集してくると、構造的には皆さん見かけてご存知かと思いますが、パッカー車といって、後ろの羽根が回ってごみを押し付けて詰めていくような状況です。そうすると、どうしても生ごみ他、水を含んでいますのであまりいい匂いではない水が出てきますので、それを貯めるタンクがついていますので、収集のごとにそのタンクを必ず開けて水を落としてから、また出掛けるようにして、全部の収集が終わった後には収集車の洗浄を必ずやるようにということで徹底をさせていただいております。そういったことで日頃、収集車が匂うことがありましたら、ごみ対策課の方にお知らせいただければ、その洗浄その他で現場に工夫を促したりできますので、どうぞよろしく願いいたします。

閉会

司会より問合せ先等の説明及び閉会

司会：本日の時間は8時半までを予定してございますので、まだ多少お時間ございますので、どうぞご質問あれば… よろしいですか。ありがとうございます。

今後、ご質問、意見等ございましたら、本日の資料の一番後ろのページに市役所の代表番号ございまして、新清掃工場の準備室にご連絡をいただければと思います。また、立川市のホームページを通じてのご質問等、メールでお受けすることも可能ですので、そちらの方もご活用していただければと思います。

それでは、質問もなくなりましたので、本日の住民説明会を終了させていただきます。ありがとうございました。